

## 総移動回数が減少に転じた東京都市圏の都市交通戦略について ～パーソントリップ調査データを活用した分析とこれからの都市交通～

千葉市も参画する「東京都市圏交通計画協議会」では、平成30年に実施した「第6回パーソントリップ調査」の結果を基に、現況分析や将来見通しの検討を踏まえた東京都市圏のこれからの都市交通戦略を提案しましたので、お知らせします。

### 1 調査の目的

「どのような人が」、「どの時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したか等、人の平日1日の動きを調べることにより、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量等を求め、将来のまちづくりや交通計画等を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

### 2 概要（詳細は別添参照）

- (1) 第6回東京都市圏パーソントリップ調査では、総人口が増加しているにも関わらず、総移動回数が減少に転じました。これを都市交通政策の転換点と捉え、都市交通の実態や将来の姿について検討しました。
- (2) 検討に当たっては、交通行動の質的な変化により不確実性が高まりもっともらしい姿を見通しにくくなっていることを踏まえ、将来の前提条件を様々な変化させた場合のシミュレーションを行い、人の移動の変化と課題を明らかにしました。
- (3) 検討結果をもとに、ドア・トゥ・ドアで移動可能な「人中心のモビリティネットワーク」を形成すること、また「居住地を中心とした暮らしやすい生活圏」をつくっていくことを新たな都市交通戦略の考え方としてとりまとめました。

### 3 調査主体（同時発表）

国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

#### <参考>

- 1 東京都市圏交通計画協議会について（協議会ホームページ <https://www.tokyo-pt.jp/>）  
東京都市圏内の都県・政令市及び関係機関が相互に協力・調整し、東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資することを目的として発足した組織です。
- 2 東京都市圏パーソントリップ調査について  
人の平日1日の動きを調べるため10年に1度行う大規模な調査であり、第1回調査は1968年（昭和43年）に実施し、今回の第6回調査で50年目となりました。